

5年学年通信



人権学習にご参観いただき、ありがとうございました。

10月26日（水）と28日（金）に人権学習を行いました。お忙しい中、ご参観いただき、ありがとうございました。分散参観だったため、今回の人権学習参観の内容を少しご紹介したいと思います。

26日（水）は、「おばさんの話」という資料を使って学習しました。「おばさんの話」では、おばさんから住んでいるところによって差別を受けていたことを聞くというものでした。子どもたちは、資料を読んで素直に「おかしさ」に気づき、たくさん考えていました。

28日（金）は、「ちがいのちがい」という学習をしました。“ちがい”にはいろいろあり、「あってもよいちがい」と「あってはいけないちがい」に分けながら、たくさんの“ちがい”について学びました。たくさんの“ちがい”がある中で、人種や障がい、男女など、あってはいけないちがいについて考えていました。いくつか子どもたちの振り返りを載せますので、おうちでも話題に出していただけると嬉しいです。

振り返り

「おばさんの話」

- 男の子だから女の子だから。どこで生まれたから。と勝手に決めつけて差別をするのはおかしいと思う。根も葉もないうさをたてられた人の気持ちを考えて行動するべきだと思う。
- やっぱり、差別や決めつけはいけないことということが分かった。自分が見たり、体験したりしていないことは言いふらさないようにしたい。
- 他の町から来た人が、いじめやきめつけをされていたら、自分から注意できるようにしたいし、やってみようと、今日の勉強でそう思いました。

「ちがいのちがい」

- 見た目、好き嫌いなどは、人それぞれあるので、あってもよいことが話し合えました。〇〇だからと決めつけたりするのは、あってはいけないことで、そのようなちがいが理解できました。
- あってもよい違いと、あってはいけない違いがあることが分かった。大人になったら、あってはいけない違いを無くしていけるようにしたい。
- 初めはすべて同じ“ちがい”だと思っていたけど、いろいろな“ちがい”があってびっくりしました。いろいろなことを知って、正しい“ちがい”や間違った“ちがい”を判断できるようになって、みんなが気持ちよく過ごせるクラスにしたいと思いました。